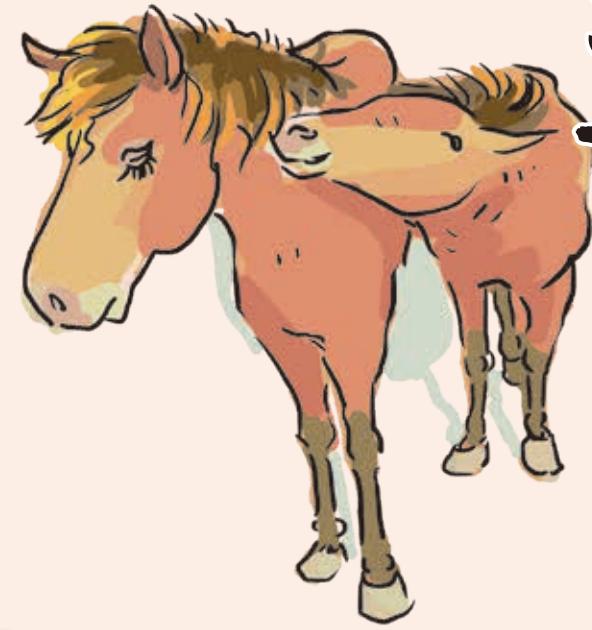


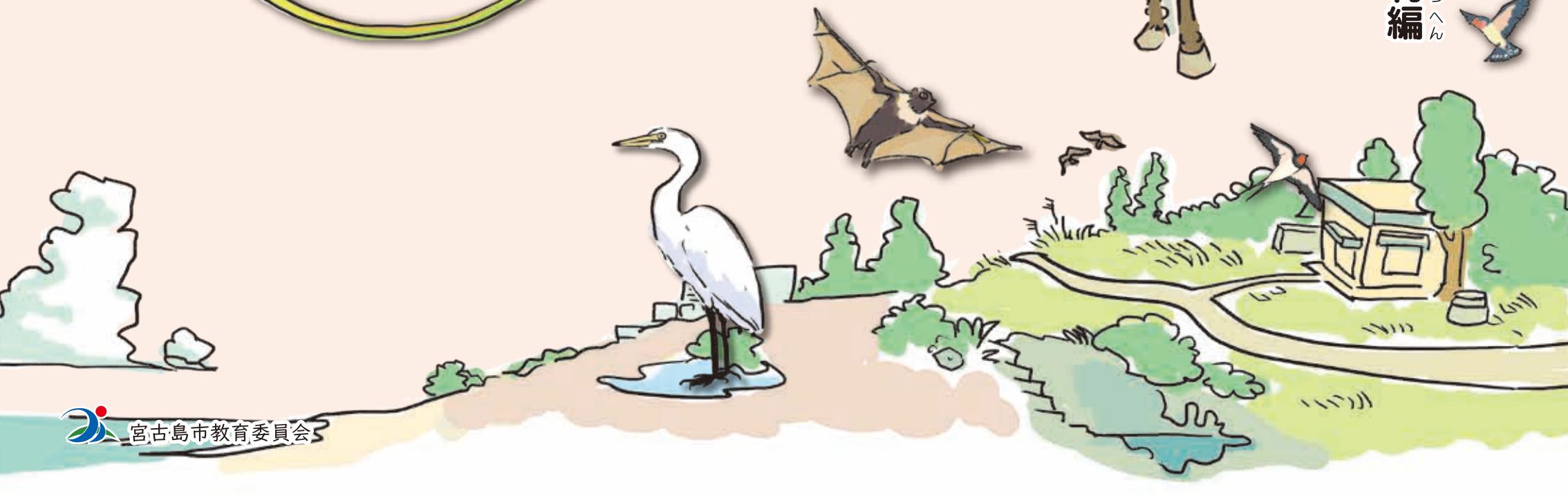


宮古島市 neo 歴史文化ロード



綾道  
あやんつ

自然・動物編  
しぜん・どうぶつへん



絶  
景  
道

あやんつ

「あやんつ」  
「趣のある道」のことを、宮古のことばで「あやんつ」といいます

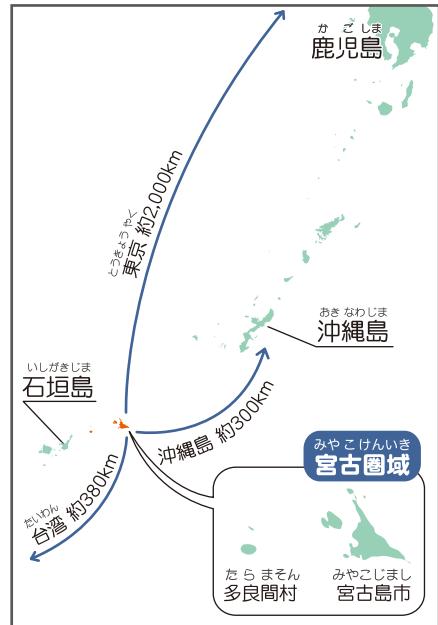


## 宮古島市の位置と面積

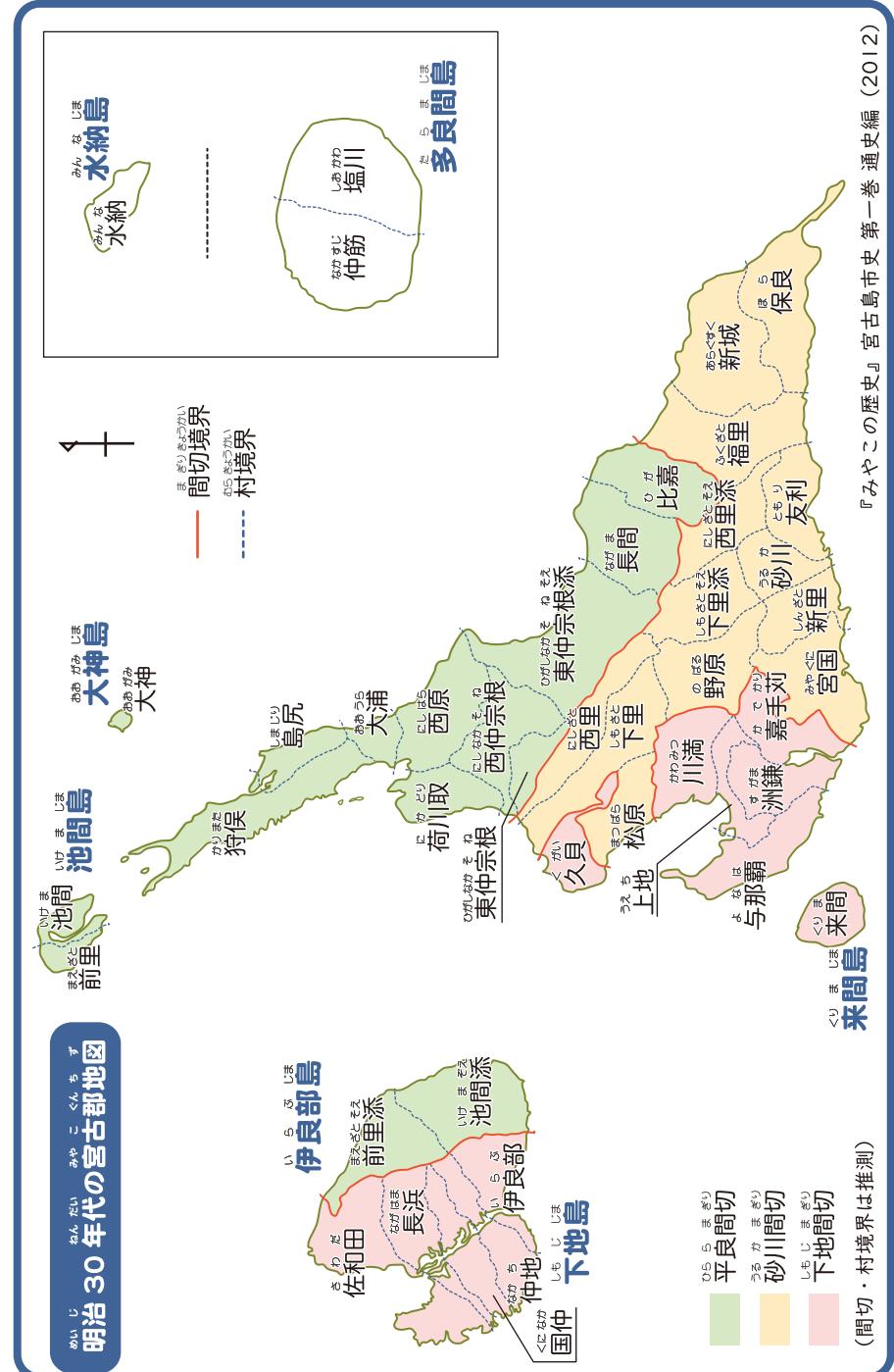
宮古島市は大小6つの島(宮古島、池間島、大神島、来間島、伊良部島、下地島)で構成されています。

総面積は204平方キロメートル、人口約5万6,000人で、人口の大部分は平良地区に集中しています。

島全体がほぼ平坦で、山岳部や大きな河川もなく、生活用水などのほとんどを地下水に頼っています。



明治30年代の宮古郡地図





宮古島市neo歴史文化ロード 綾道 自然・動物編

宮古島市の位置と面積.....	02
明治30年代の宮古郡地図.....	03
環境ごとの観察場所.....	06
宮古諸島の動物と自然.....	08
激動を生きた動物たち～化石からわかる動物相～.....	10
いまはない島があった！？“OMSP”仮説.....	11
<b>動物の分類.....</b>	<b>12</b>
<b>ほ乳類.....</b>	<b>13</b>
宮古馬.....	13
宮古馬の歴史.....	14
ジュゴン.....	16
ネズミ・モグラ類.....	18
コウモリ類.....	19
<b>鳥類.....</b>	<b>20</b>
旅鳥.....	21
サシバと宮古の人びと.....	22
留鳥.....	24
夏鳥.....	26
かんさつのコツ・気をつけること.....	26
アジサシ類.....	27
サギ類.....	28
冬鳥.....	29
人と関わりの深い鳥たち.....	30

<b>爬虫類.....</b>	<b>32</b>
トカゲ類.....	32
保護対象なのに外来種？.....	35
<b>ヘビ類.....</b>	<b>36</b>
<b>両生類.....</b>	<b>38</b>
生き物に関わる法律や条例.....	39
<b>陸棲・陸水棲 十脚甲殻類.....</b>	<b>40</b>
ヤシガニ.....	40
ヤシガニの保全.....	41
<b>オカヤドカリ類.....</b>	<b>42</b>
オカガニ類.....	44
ミヤコサワガニ.....	45
<b>陸産貝類.....</b>	<b>46</b>
意外と知らない陸産貝類.....	48
野外観察のときに気をつけること.....	49
宮古のゆがたい ネズミとヤドカリのおはなし.....	50
宮古のゆがたい カエルとイノシシの知恵比べ.....	51
外来種 入れない、捨てない、拡げない.....	52
文化財の体系図・一例.....	54



※御嶽は祭祀などを行う大切な場所です。神聖な場所なので入らないようにしましょう。



# 宮古諸島の動物と自然

九州南端から台湾の間には200を超える島々が点在し、南西諸島と呼ばれます。その中で大陸に沿って弓なりに並んでいる列島を、琉球列島(琉球弧)と呼びます。琉球列島は断層などを境にして北琉球・中琉球・南琉球に区分することができ、この区分は生物分布の境界線にもなっています。

例えば、オオコウモリやハブ、キノボリトカゲなどは渡瀬線が分布の北限となっていて、中琉球と南琉球でしか見られません。また、キンバトやムラサキサギなど

は蜂須賀線が分布の北限になっています。

宮古諸島は山地も河川もなく、平原で自然も変化がないように見えますが、詳しく調査をしてみると、島の環境に適した個性ある動物たちが生息しています。これら

の動物の中には、宮古諸島にだけ

生息している固有種や、国・県指

定の天然記念物もいます。

また、大陸や日本列島の渡り鳥たちが南下するときの中継地でもあり、季節ごとにさまざまな種類の鳥を観察することができます。



※南西諸島は尖閣諸島と大東諸島を含む範囲



# 激動を生きた動物たち

～化石から分かる動物相～

## 宮古にもゾウがいた！？

現在の宮古諸島には大型の陸棲ほ乳類やハブ類はいませんが、かつて生息していましたことが分かっています。

宮古諸島は、島尻層群と琉球層群と呼ばれる地層が重なってできています。その琉球層群が溶けてできた洞窟や割れ目に堆積物が入り込み、そこからゾウやシカやイノシシ、ヤマネコ、クイナやツル、大型のハブなどの化石が見つかっています。これらの中には沖縄諸島やそれ以北に今も生息している種に近いものも含まれています。こういった化石は、宮古諸島が大陸やほかの島々とつながっていた時期があったこと、何らかの理由で宮古諸島から姿を消した動物がいることを示しています。

## 海に沈んだ大きな島があった！？

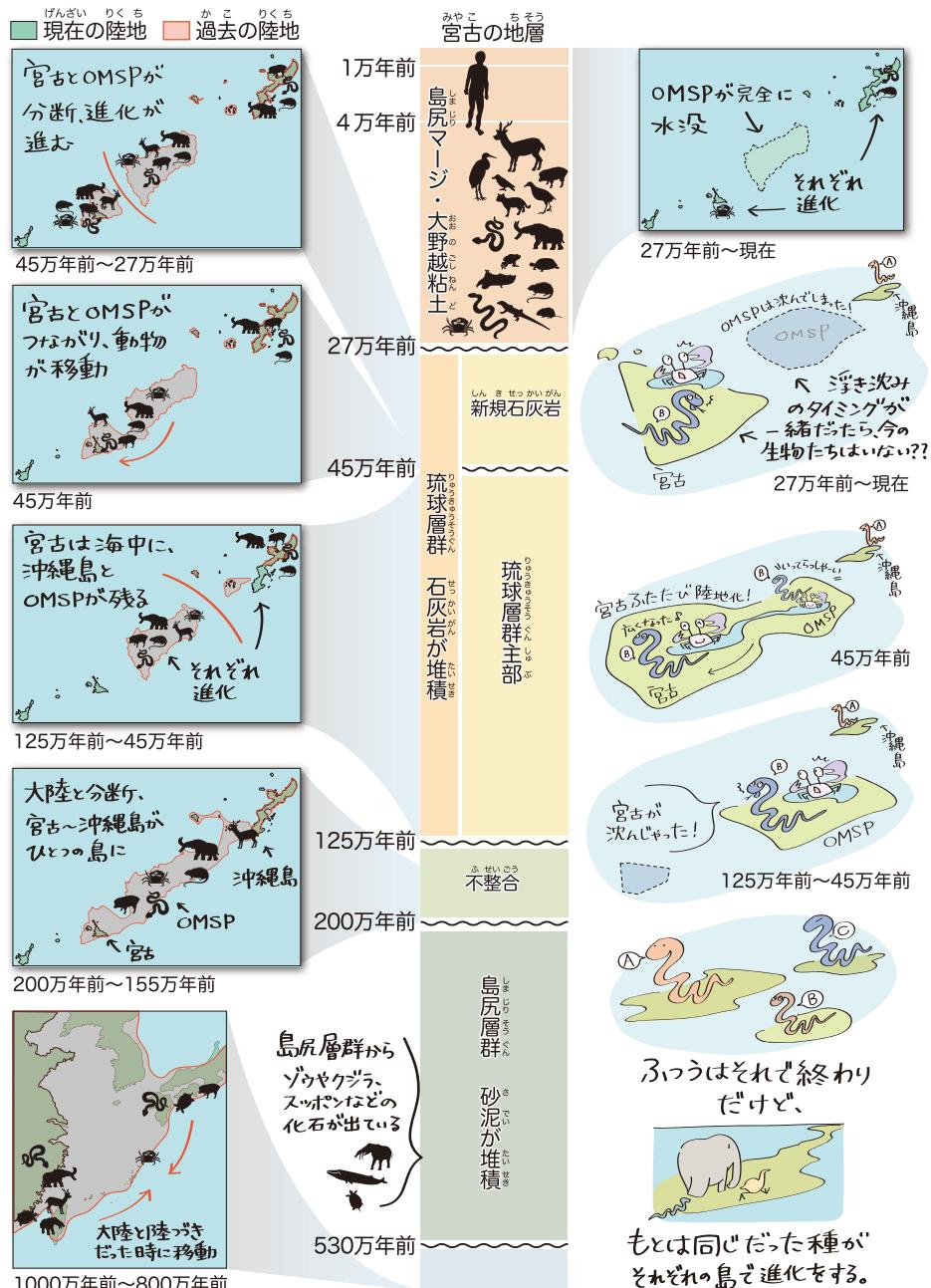
近年、「OMSP」という大きな島が沖縄島と宮古島の間に存在し、島と島をつなぐ橋のような役割をしたのではないか」という仮説が注目されています。今後、この仮説をもとにさらに研究が進めば、宮古諸島の動物についての謎が明らかになるかもしれません。

※OMSP : Okinawa-Miyako Submarine Plateauの略

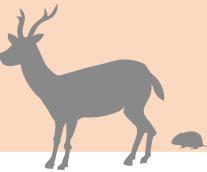


## いまはない島があった！？“OMSP”仮説

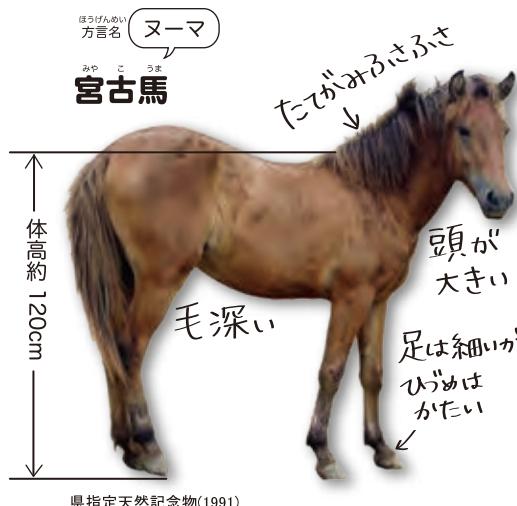
監修：井龍康文さん(東北大学 変動海洋エコシステム高等研究所 教授)



# ほ乳類



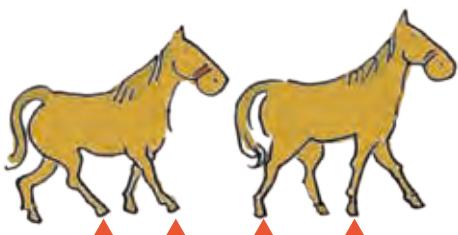
現在、宮古諸島に生息するほ乳類はネズミ、コウモリ、イタチの小型種のみで、これまで4目9種が確認されています。それ以外に、島の人々の生活に関わってきたほ乳類として、宮古馬やジュゴンがいます。



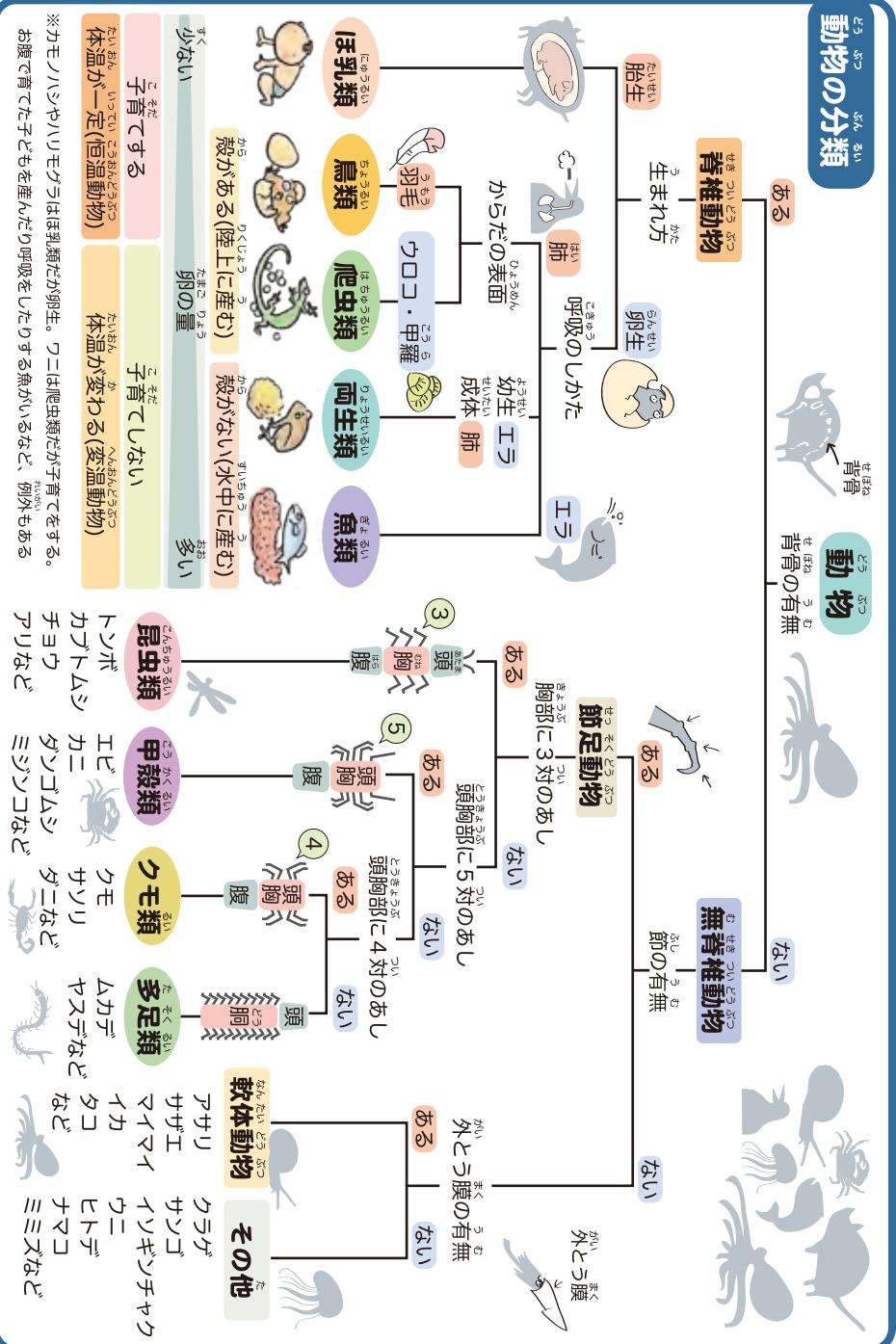
県指定天然記念物(1991)

## 側対歩とは？

同じ体側の前足と後ろ足を同時に  
出す歩き方で、揺れが少ない。



当時の農民は乗馬を禁じられており、調教していないのに側対歩で速く歩けたのは、石がゴロゴロする道を荷物が崩れないようバランスをとって歩かねばならなかつたことで、自然と身についた特技だったのではないかと考えられています。



\*カモノハシやハリモグラはほ乳類だが卵生。ワニは爬虫類だが子育てをする。お腹で育てた子どもを産んだり呼吸したりする魚がいるなど、例外もある。